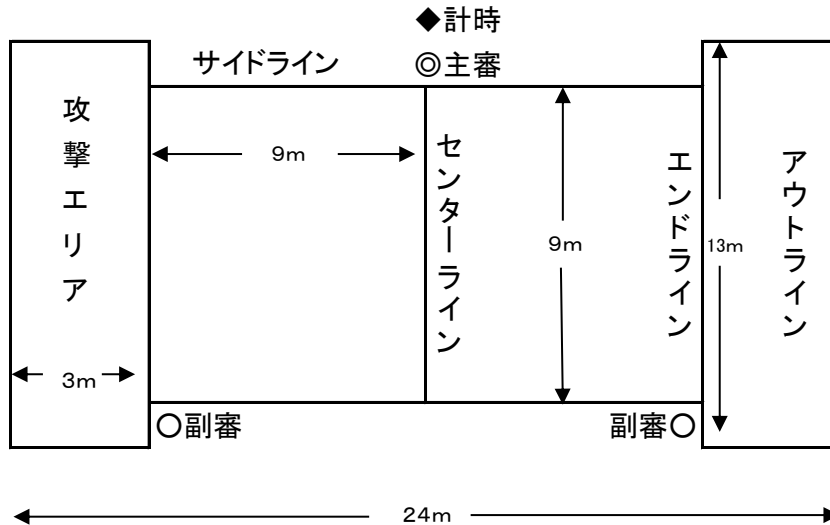


久留米市スポーツ少年団ドッジボール簡易ルール

※ 部は本年度変更点。

1 コート バレーボールコート(6人制)



2 ボール 教育用2号ボール(ゴム)

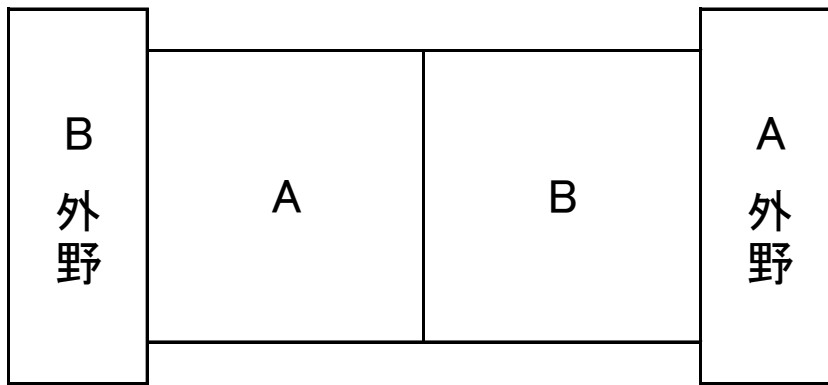
3 人員及び構成 選手 7名以上10名以内

- (1)試合は、1チーム7名で構成し、人員を外野3名・内野4名を配置する。
- (2)補欠は3名。試合中のプレイヤーの交代は認めない。交代はハーフタイムに行う。
- 但し、負傷等により主審が認めた場合はその限りではない。

4 競技時間 ハーフタイム(1分)をはさんで前・後5分とする。

5 試合方法

- (1) ジャンケンによりコート又はボールを選択し、審判の笛により開始する。後半は交代する。
 - (2) 内野の者で相手から投げられたボールがノーバウンドで当たった時又は受け損じた者は失格となり外野に移動する。
 - (3) 外野にいた者が相手内野のプレイヤーにボールを当てた時は内野に入ることができる。但し、直ちにに入らない場合はその時の内野権を失う。
 - (4) ボールが自チーム側の外野ラインを越えた場合には相手内野ボールとなる。
 - (5) 相手コートのボールをラインを踏まずに取ることを認める。
 - (6) 投げる際、ラインを踏んで投げた場合は相手のボールとなる。
- (ボールを投げる一連の動作で投げた後も踏んではいけない)



- (7) A→B その1 A外野からの後方又は横(サイド)へ出た場合はB相手の内野ボール。
 その2 Bチームの選手がアウトになり、サイドへボールが出た場合と、
 Bチームの選手に触れてサイドへ出た場合はAの内野ボール。
 その3 Bチームの選手に触れずにサイドへ出た場合はBの内野ボール。
- (8) ボールを保持した者がラインを踏んだ場合は相手のボールとなる。
- (9) ボールが二人以上のプレイヤーに当たった場合は、二人目以降のプレイヤーが受けた時はセーフ。落とした時は最初のプレイヤーのみが失格となる。
- (10) 顔面にボールが当たってもセーフとし、試合を続行する。
- (11) 失格になった内野手とそのボールを味方に有利になるよう故意に再びボールに触れた時は相手ボールとする。
- (12) ボールを保持したチームが故意にボールを回した場合(10秒程度)は審判の判断により相手方のボールとする。(ストーリング)
- (13) 試合開始時、外野にいる者は内野権を持たない。
- (14) 終了の吹笛があった時点で試合は終了する。
- (15) その他審判が反則と認めた時は、プレイヤー失格又は相手ボールとする。
- (16) 競技場内(アウトライン含む)には選手及び審判以外は立ち入ることはできない。

6 ゲームの勝敗

前後半を通じて内野に残った人数の多いチームの勝ちとする。

同点の場合は3分間の延長を行い、なお、同点の場合は7名の選手によるジャンケンにより勝敗を決する。

7 審判 審判は次の場合笛を吹く。

- ◎試合開始及び試合終了 ◎プレイヤーの失格 ◎ストーリング
- ◎ラインクロス ◎ボールがアウトライン外に出た時
- ◎その他審判が必要と認めた時(監督・選手にあるまじき言動)＝警告等